

子育てにやさしい鉄道とは
「将来を見据えた民鉄業界の取り組み」

REPORT.2

鉄道を利用して 良かったこと、期待すること 子育て世代の声

子育てが社会全体で取り組むべき課題となっている現在、鉄道事業者にはどのような子育て支援が求められているのか。小田急線経堂駅が最寄り駅のNPO法人せたがや子育てネットが運営する集いの場「おでかけひろば ぶれす」を利用する、就学前のお子さんがある保護者の方々にお話いただいた。

取材・文◎松澤美穂／撮影◎加藤有紀



NPO 法人せたがや子育てネットが運営する集いの場「おでかけひろば ぶれす」を利用する皆さん

——皆さん小さなお子さんがいらっ
しゃいますが、よく利用される公共交
通機関は何でしょうか。また、主な利
用目的をお伺いできますか。

鈴木 週に1・2回、子どもを連れて
遊びに行くときや義理の実家に行くこ
きに、小田急線や京王線、あと東急世
田谷線を利用します。

伊藤 うちは娘が復職していて、私た
ち祖父母で孫を世話しています。こち
らの施設には歩いてきていますが、週
に1・2回は、孫を連れて遊びや食事
にも行くので、そうしたときは電車や
バスを利用します。

幸福 一番よく使っているのは小田急
線です。子どもを連れて遊びに行くこ
きに使います。

早川 自宅や実家の最寄り駅が小田急
線なので、私も小田急線です。遊びに
行くときに使うことが多いです。
下地 私も小田急線です。子どもの遊
びや幼児教室に連れて行くときに使っ
ています。

——電車利用が多いようですが、お子
さんと一緒に電車を利用するとき、ど
んな困りごとがあるでしょうか。

鈴木 エレベーターが少なく、どこ
に設置されているか分かりにくいのが
困ります。

幸福 そうですね。分かりやすいエレ
ベーターの位置案内が欲しいです。降
りた位置からエレベーターが遠かった
りして、乗り換えは絶対にアプリの案

内通りにはいかないです。それは本当
に困っています。事前に、どの車両に
乗れば、エレベーター近くに降りられ
るのが調べられるアプリなんかがあ
るとありがたいです。

伊藤 最近ではエレベーターのない駅
はほとんどないですけど、確かに大き
な駅などではどこにあるのか探すこと
はありますね。

下地 以前、改札を入ってからエレ
ベーターが別の改札の方にしかないこ
とが分かって、一旦出たことがあります。
初めて使う駅だと位置案内が見つ
けられなかったりして、困ります。

早川 エレベーターが狭くて困ること
もあります。ベビーカー2台と大人2
人でギリギリというサイズが多くて、

参加者



伊藤広史さん
(お孫さん1歳3カ月)



鈴木汐美さん
(お子さん1歳0カ月)



下地綾美さん
(お子さん2歳)



早川愛さん
(お子さん1歳6カ月)



幸福千穂さん
(お子さん1歳2カ月)

「子どもと一緒に乗る時にも気兼ねなく電車に乗れるようになるといいですね」

一度に乗れる人数が限られます。新宿駅などではスーツケースを持った観光客の方も利用するので、行列になっていたりします。うちは家族で電車に乗る時は、エレベーターに乗るのはベビーカーと大人1人だけにして、他の家族はエスカレーターを利用するようにしています。こうすれば、皆がもう少しスムーズにエレベーターに乗れるようになるんじゃないかと思っています。

——他にも電車の利用にあたって、気にしていることなどはありますか。

下地 ラッシュ時の電車は避けています。普段ほとんど乗る機会もないのですが、怖くて乗れないです。遠出をする時など、朝ラッシュ時に当たりそうな場合はタクシーを利用したりします。

早川 どうしても混んでいる時間に電車に乗る必要がある時は、ベビーカーは止めて抱っこ紐にするようにしています。

幸福 ベビーカーには気を使います。新宿駅などでは、皆が一齐に乗り降りするのでベビーカーは身動きが取れなくなります。エレベーターを探しながらベビーカーを押していると、人の流れの邪魔になってしまうので、できるだけ端を歩くのですが、ホームが狭いと脱輪が怖いです。

——「助かるな」と感じる鉄道会社の工夫、また「こうなってほしいな」と思う点などありますか。

鈴木 小田急線や京王線にはベビーカースペースのある車両があるのが助かります。子どもはじっとしてないし、騒いでしまうと心苦しくなりまします。ベビーカースペースがあると、子どもを連れた利用を受け入れてもらっている気がします。ベビーカースペースの設定が広がってくると嬉しいのです。あとは、やはりエレベーターの広さと数でしょうか。

伊藤 エレベーターの増設等は設備投資になるので、なかなか難しいでしょうけれど、駅改修等のタイミングで対応してもらえるといいですね。日常的に使っている小田急線について言うと、3号車が「子育て応援車」になっています。ベビーカーや赤ちゃんの泣き声などへの理解を促すステッカーが貼ってある車両ですが、誰でも利用可能です。ラッシュ時にはこの車両も当然通勤通学客で一杯になります。ラッシュ時であってもベビーカーで電車を利用する必要がある方も少なくないと思うので、時間帯に応じて対象車両を増やすような運用をしていただけると、助かるのではないのでしょうか。

幸福 小田急線の「子育て応援車」は、子連れが乗ってくることが多いので、子ども同士が仲良くなったり、親同士がねぎらい合えたりする雰囲気がいいですね。あと、経堂駅はエレベーターが広いのも助かっています。待つことがほとんどありません。「こうなったらいいな」というのは、ホームアナウンスの音量でしょうか。目的地につくまで、子どもにはできるだけ寝ていてほしいのですが、アナウンスが大きくて起きちゃうことがあって。アナウンスの音量が低めの場所があったらいいですね。

早川 皆さんと同じで、エレベーターの広さや位置は困ることが多いので、改善していつてほしいです。ただ、小

「せたがや子育てネット」とは

「せたがや子育てネット」は子どもを中心に皆が協力し合える街・社会の実現を目指し、2004年に設立したNPO法人です。親子の居場所「おでかけひろば」や子育て相談窓口などを運営しています。

設立から20年以上になりますが、最近は「自分で頑張らなさい」といった雰囲気、完璧を求める雰囲気が強まっているように感じます。子育てには厳しい環境です。子育ても、親がすべてを担わなくてはと気負わないことが大切です。頼る先を持つことが、いろんな人にとって子どもへの理解につ

ながり、子どもにとってはセーフティネットとなります。

今、電車に乗る時、ベビーカーだと遠慮して最後に乗るという人も多いようですが、子ども（ベビーカー）を最初に乗せてくれる社会になったらいいなと思います。そして、ベビーカーに限らず、その時その場所で一番大変な人に手を貸すのが当たり前の社会になってほしいと願って活動しています。



NPO法人
せたがや子育てネット
代表理事

松田妙子
Taeko MATSUDA

田急線の場合、ホームのエレベーターがどの駅でもほぼ同じ位置にあるように感じます。エレベーターを降りて一番近い車両に乗ると、降りたホームでも近くにエレベーターがあるので、もっと広まってほしいです。

下地 小田急線は、どの改札を通ってもエレベーターがほとんどあるのが助かっています。他の路線でも各改札にあったらいいなと思います。あとは、ラッシュ時でも気兼ねなく安全に子どもと一緒に電車に乗れるようになるといいですね。